

令和6年度 前期 学校評価

鬼北町立日吉中学校

【評価基準】 A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D:そう思わない

重点目標	評価指標			評価	評価	○考察 及び ●改善方法	
確かな学力	1	①ICT機器を効果的に活用し、分かる授業を実践している。	教師	「わかった」「できた」を一人一人が実感できる授業に努めている。	A	A	○アプリを活用して復習をする習慣が身に付きつつあり、ICTを活用することに対して、生徒・教員ともに抵抗がなくなってきた。 ●理解度は高いが、テストの点数には反映されていない。本当に理解しているかの確認や定期的な振り返り、演習が必要である。
			保護者	お子さんは、授業内容を理解している。	A		
			生徒	授業内容をよく理解している。	A		
	2	②基礎・基本を定着させ、学びに向かう力を育てている。	教師	家庭学習の指導や内容を工夫し、主体的な学びにつなげている。	A	B	○「宿題以外の家庭学習」に対する生徒・教師の評価が高いが、保護者の評価は低い。この理由がなかなかつかめず、効果的な対策ができていない。 ●教科に偏りが出ないように、宿題の出し方を考える必要がある。
			保護者	お子さんは、宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。	C		
			生徒	学び方を理解し、宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。	A		
	3	③じっくり考えて判断し、表現する力を育てている。	教師	教科学習や郷土学を充実し、思考力・判断力・表現力を育てている。	A	A	○各教科において、表現力の育成に力を入れて指導してきた結果、きちんと自分の考えをまとめて発表できる生徒が多くなった。 ●各教科で、生徒の主体的な学び（自ら学ぶ姿勢など）を更に充実させたい。
			保護者	郷土学等によりお子さんの考える力や表現力が育ってきている。	A		
			生徒	じっくり考え、伝えたいことを的確に書いたり話したりできる。	A		
評価関係者意見	<p>○生徒は学習しているが、親がそのことを分かっていないのではないか。 ○ICT機器を有効に活用し、生徒の学力向上が図られていることが参観日等で分かる。今後も主体的な学びにつなげて行ってほしい。 ○少人数の良さを十分に生かした取組がされていると思う。 ○個人の意見が「発表」という形でできなくても、グループ討議の中で意見が言えていればいいと思う。 ○少人数での授業の工夫や個々へのきめ細かな対応で、生徒の学力向上に取り組まれていると感じた。 ○小学生も中学生も、タブレットの中はなかなか親が見る機会がないので、どれだけやっているか分からない。</p>			学校の対応	<p>○家庭学習が主体的な学びになるように、宿題の出し方や内容を検討する。後期は、「計画・テスト・分析・練習」の流れを重視した家庭学習（けてぶれ学習）を取り入れ、自ら学ぶ意欲の育成に努める。 ○日々の授業で、「少人数の利点を生かす工夫」や「ICTを効果的に活用する視点」を取り入れるなど、更なる授業改善に努める。 ○1人1台端末の活用は、家庭学習での利用も含めて常態化してきた。授業での活用方法など、より効果的な活用方法を研修する。</p>		

重点目標	評価指標			評価	評価	○考察 及び ●改善方法	
豊かな心	4	④地域の文化や自然を学校教育に生かしている。	教師	地域のよさを生かした教育活動に努め、豊かな心を育てている。	A	A	○郷土学などの授業を通して、地域の方々と関わる機会が多いため、地域の文化や自然に触れたよい学習を行うことができている。
			保護者	地域のよさが学校教育に生かされ、豊かな心が育っている。	A		
			生徒	進んで、地域の文化や自然、人々との交流に取り組んでいる。	A		
	5	⑤将来への展望を持つよう学校生活の充実に努めている。	教師	キャリア学習を進め、充実した学校生活を送れるようにしている。	A	A	○さまざまな行事で地域や外部の講師と関わることができ、生徒は将来に向けての刺激を受けている。 ●将来の夢に関わるような指導は、学校全体としてあまりできていない。授業や授業以外で、自分の将来について考えることができるような話題を出したり、時間を持ったりしたい。
			保護者	お子さんは、将来に夢をもち、学校生活を楽しく送っている。	A		
			生徒	将来に夢をもち、学校生活を楽しく送っている。	B		
	6	⑥挨拶や時と場に応じた言動が身に付くようにしている。	教師	挨拶や時と場に応じた適切な言動ができるよう指導している。	A	A	○学校生活全般において、教師と生徒、生徒同士の挨拶はよくできているが、時と場に応じた言葉遣いについてはまだ不十分なところもある。 ●時と場に応じた言葉遣いや身だしなみについては、その都度適切な指導や声掛けをする。
			保護者	お子さんは、挨拶や時と場に応じた適切な言動ができる。	A		
			生徒	気持ちのよい挨拶や時と場に応じた適切な言葉遣いができる。	A		
評価委員意見 学校関係者	<p>○生徒の挨拶は、学校内ではよくできていると感じるが、学校外でも進んで挨拶したり、規則正しい言動ができたりするように努めてもらいたい。</p> <p>○一人一研究で調べたことを、地域の中で実際にやってみることもいいのではないか。（伝統行事など）</p> <p>○少人数の中、お互いにコミュニケーションがとれ、それぞれの個の良さを認め合える仲間づくりが将来の希望につながると思う。</p> <p>○中学生の方から元気な声で挨拶ができている。</p> <p>○個々の性格の違いはあると思うが、優しい心、豊かな心は育っていると思う。</p>			学校の対応	<p>○郷土学や一人一研究を通して学んだことを、日々の学校生活や今後にかかすことができるような指導を心掛ける。</p> <p>○学校内外でも進んで気持ちのよい挨拶ができる生徒の育成に努める。</p>		

重点目標	評価指標			評価	評価	○考察 及び ●改善方法	
健やかな体	7	⑦「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化を図っている。	教師	「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付くよう指導している。	A	B	○教師と家庭とで達成率にギャップがみられる。この項目はどうしても家庭に委ねる部分が多いので三拍子そろうことは難しいのかもしれない。 ●今年度の思春期教室のように、朝ご飯や早寝早起きなどの大切さを教えてもらえる時間を定期的にとることが必要だと思う。
			保護者	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	D		
			生徒	「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	C		
	8	⑧体力や運動技能の向上への取組を実践している。	教師	しっかり運動することができるよう指導や助言ができてきている。	A	A	○特に運動・部活動に対しての評価が高い。日頃から部活動に対する保護者や地域の理解の高さがうかがえる。
			保護者	部活動を通して、お子さんの体力や技能、個性が伸びてきている。	A		
			生徒	体育の授業や部活動に意欲的に取り組んでいる。	A		
	9	⑨自尊感情や自己肯定感を育てている。	教師	一人一人のよさを認め、個性を生かすようにしている。	A	A	○日頃の学校生活の中でも、一人一人を大切にされた指導を行っているが、自分に自信を持ってない生徒がいることも事実である。 ●日頃から一人一人の活躍の場を設け、日々声掛けによる励ましや、コミュニケーションを大切にしたい。
			保護者	お子さんのいいところを認めるようにしている。	A		
			生徒	自分にはよいところや強みがある。	A		
評価委員意見 学校関係者	<p>○親の生活ペースが影響していると思う。</p> <p>○極少数人数でも、よく部活動を頑張り、成果も残している。日ごろからの先生方の指導の賜物だと思う。</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」の評価が教師と家庭とのギャップが大きい。夜更かしすると朝食に影響するので、一度、生活習慣（就寝時刻や起床時刻など）のアンケートをとってみてはどうか。</p> <p>○選ぶことのできない部活動の中でも、楽しみながら取り組めていればいいのではないか。それが「豊かな心」にもつながると思う。</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」は、家庭環境にも影響があると思うので、親子での思春期教室をしてはどうか。</p> <p>○食事や睡眠は身体をつくる上でとても大事だと思うので、親としてこれからも大事にしたい。</p>			学校の対応	<p>○生活指導や食に関する指導など、家庭と連携した活動を心掛ける。</p> <p>○部活動に関しては、家庭や地域の協力のおかげで十分な活動ができている。今後も協力体制を維持して、きめ細かな指導を続ける。</p> <p>○少数人数の利点を生かし、一人一人に活躍の場を確保、声掛けやコミュニケーションを大切にされた指導を続ける。</p>		

重点目標	評価指標			評価	評価	○考察 及び ●改善方法	
学校・家庭・地域の連携	10	⑩学校は教育活動についての情報を発信している。	教師	分かりやすく親しみやすい通信やHP作りに努めている。	A	B	○地域の方から「ホームページ見てます」とよく言われる。保護者や地域の方は学校の様子に関心を持っていただいております、今後も様々な形での情報発信をしていくとよいと考える。 ●配布物は、ただ生徒に渡すだけでは保護者に渡っていない場合があることを実感した。きちんと保護者に渡ったかの見取りも必要である。
			保護者	各種通信やホームページで教育活動に関する情報を読んでいる。	A		
			生徒	学校からのプリントは、必ず家の人に見せている。	C		
	11	⑪行事等が適切に設定され、保護者が参加できている。	教師	行事の内容がよりよいものになるよう、工夫や提言をしている。	A	A	○学校・家庭・地域の連携がしっかりできており、学校行事などの教育活動への協力も多く大変ありがたい。 ●保護者や地域への連絡を早めに行い、多くの協力が得られるように努める。
			保護者	学校の行事は、お子さんが意欲的に取り組める内容である。	A		
			生徒	学校の行事に意欲的に取り組んでいる。	A		
	12	⑫安心・安全な教育環境づくりに努めている。	教師	家庭や地域と連携し、安心・安全な教育環境を保持している。	A	A	○環境整備や施設・設備の安全点検など、迅速な対応により、生徒・保護者・教師ともに高い評価が得られた。 ●今後も地域の協力を得ながら、迅速な対応に努めたい。
			保護者	安心してお子さんを送り出せる教育環境になっている。	A		
			生徒	家庭や地域、学校に支えられ、安心して学校生活を送っている。	A		
評価委員意見	<p>○情報発信がよくできている。ホームページは見ごたえ、読みごたえがあり、充実している。</p> <p>○学校行事（一人一研究発表会や授業参観など）は、地域の行政無線も活用して広く呼び掛けることもしているのではないかと。</p> <p>○十分にできていると思う。</p> <p>○学校通信やホームページなどは、生徒の活動内容等が分かりやすい。</p> <p>○ホームページも楽しみに見させてもらっています。ふだんは知ることができない情報も分かるのでいいです。</p>			学校の対応	<p>○今後もホームページや学校通信、ケーブルテレビを通して積極的な情報発信に努める。</p> <p>○学校行事などで、連絡時期や方法を工夫して、保護者や地域から多くの協力が得られるように努める。</p> <p>○環境整備や安全点検を充実させ、気持ちのよい学習環境を維持できるように努める。</p>		